

茨城県 社会福祉士会 NEWS

NO. 55

発行 一般社団法人 茨城県社会福祉士会
Ibaraki Association of certified Social Workers

発行日 平成28年7月21日<2016. 7. 21>

編集 広報事業部

事務局 〒310-0851

茨城県水戸市千波町1918

茨城県総合福祉会館内

Tel : 029-244-9030

Fax : 029-244-9052

ホームページ <http://www.csw-iba.org/>

Eメール csw-iba@csw-iba.org

平成28年度第1回定時総会&県士会推薦者研修報告会を開催しました！ in 茨城県総合福祉会館

5月29日（日）、茨城県総合福祉会館を会場に平成28年度第1回定時総会を開催いたしました。当日の出席者48名、委任状による書面評決284名、合計332名で会員数613名の過半数を満たし総会は成立、取り上げられた議案につきまして賛成多数で承認されました。

また、同日の午後からは県士会推薦者研修報告会を開催いたしました。本会の推薦を受けて研修を受講して頂いた方々には、茨城県社会福祉士会で実施する研修において中心的な役割を担って頂いております。今回は、酒寄 学会員により「災害支援活動者養成研修」、池澤 健嗣会員により「スーパービジョン研修（経過的対応）」、加藤 史子会員により「障害者の施設内虐待対応研修」、上田 和寿会員により「地域包括支援センターネットワーク実践力養成研修」の報告が行われました。



目次、…1

新役員挨拶…2～3 新役員のご紹介…4

被災地活動支援金の募集について…5

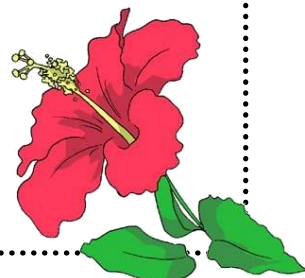
2016年度 福祉関係者のための成年後見制度活用講座に参加して…6

「会員の声」その人の立場になるとは…7

ブロック活動報告…8～12

（県北ブロック、県央ブロック、県南ブロック、県西ブロック、鹿行ブロック）

編集後記・・・12



新 役 員 挨 拶

「会長就任にあたって」

茨城県社会福祉士会が設立した当初より、役員として会活動にかかわりを持ってきました。ずいぶん時間が経ったという感慨とともに、今後の茨城県社会福祉士会としての有り様を模索している所です。今回の理事の改選では、新たな理事を迎えることができた喜びと、一方で今後、日本社会福祉士会からさまざまな業務を都道府県社会福祉士会へと業務が移行していく中で、どのような事務局体制がはかれるかという積年の課題への不安があります。また、毎年会員は少しずつ増えてはおりますが、組織率が大幅に改善しないなかで、会員であることの意味をどのように伝え、職能団体としてどのような活動や発展の有り様があるのかなどこちらも大きな課題であります。このような現状の中で、今回は各ブロックから、理事が選出された初めての執行部体制となりました。このことは、ブロックで吸い上げた会員一人ひとりの声に、答えるべく活動が展開されていくことが期待されていると思います。めざましい歩みではないかもしれませんが、しかし、確実に職能団体としての私たちが社会に貢献し、茨城の社会福祉を担う専門職であることを自覚しつつ、地味ではあるかもしれませんが着実に活動を発展させていきたいと思っています。そのためには、会員一人ひとりの協力が欠かせません。どうぞ、よろしくお願いいたします。

理事・会長 竹之内 章代

つくば国際大学の椎名清和です。引き続き、理事および副会長を務めることになりました。今後とも、よろしくお願いいたします。本会の会員も 600 名を超え、全国の都道府県士会では、20 番目前後の規模となっています。ただし、この数年の理事としての活動からは、まだまだ「草創の時期」にあるように思えます。社会福祉の先人たちが、様々な事柄に自ら進んでコミットしていったように、会員の皆様方におかれましても、「会を築き上げていく」姿勢で、本会の活動にご助力を賜れば幸いです。

理事・副会長 椎名 清和

今年度から鹿行ブロックからの推薦により茨城県社会福祉士会の理事および副会長を務めることになりました千葉と申します。現在鹿嶋市だいで地域包括支援センターの社会福祉士として勤務しております。会員番号も古く、当会にも長年お世話になっておりますので、会員の皆様との「つながり」を大切に、微力ではございますが会の貢献に努力したいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

理事・副会長 千葉 剛

前期に引き続き、理事及び事務局長をさせていただくことになりました。会員数も 600 名を超え、事務局の事務量や受託事業による研修量も大幅に増加しております。こうした状況の中、会員の皆様のニーズに対応できる体制や規程等の様々な整備が急務になっております。しかし、限りある予算の中で対応していかなければならない現状もあるため、会員の皆様にもご協力をいただき、微力ながら会に貢献していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

理事・事務局長 小森 弘道

このたび、理事を務めさせていただきます、土浦市社会福祉協議会の上田です。どうぞよろしくお願いいたします。さて、社会福祉士という資格はとても奥が深く、とても価値のあるものだと思います。しかし、資格は所持しているだけでは意味がありません。しっかり学び、実践し、伝えていくことが大切だと思います。私たちが頼れる専門職として成長していくために、私たちの社会福祉士会も成長していかなければなりません。ぜひ皆さん、一緒に話し合っていきましょう。

理事 上田 和寿

ひたちなか市社協 介護福祉課に所属し、居宅支援事業所や訪問介護等の介護保険事業と、包括支援センターや通所型予防事業など市の受託事業を行っています。直接利用者の相談援助にかかわる業務ではありませんが、介護保険や介護予防・総合事業を進めるうえで、社会福祉士として学んだ知識や経験を持って、相談支援のフォローや事業所運営を行っています。社会福祉士会では、組織強化事業部担当となりました。活動にも積極的に参加していきたいと思います。どうぞよろしくお願いします。

理事 鹿志村 武史

はじめまして。県央ブロックに所属している鈴木重史と申します。今回、研修事業部の理事の一人として参加させていただくことになりました。最近では、基礎研修だけでなく、本部研修を各支部に移行していく流れも多く、なかなか重要な部署であると認識しております。大任ではありますが、皆様に助けていただき、各事業部とも連携しながら、頑張らせていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

理事 鈴木 重史

前期に引き続き理事を務めさせていただくことになりました滝口と申します。自己研鑽を支援する生涯研修制度と共に認定社会福祉士制度も制定され、認定社会福祉士も誕生しています。日ごとに実践力を高める学びのシステムは大きく変わってきています。

そのような環境の中、私は研修事業部を担当させていただきますので、会員の皆様のために有意義な研修を企画、運営して参りたいと考えております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

理事 滝口 康子

前期に引き続き理事を務めさせて頂くことになりました中山と申します。資格を取得したというだけで終わらず、日々の研鑽を重ね常に成長してこそその社会福祉士だと思います。ぜひ社会福祉士会の活動にも積極的にご参加頂き会員間で互いを高め合うと共に、会もより良いものへと一緒に成長させていきましょう。私は広報事業部を担当させて頂いておりますので、皆さまに広報誌の原稿などをお願いさせて頂くことがございます。その際はぜひご協力頂けますようよろしくお願い申し上げます。

理事 中山 優子

今年度より理事を拝命しました石岡市出身・つくば市在住の村上義孝と申します。社会人編入で武蔵野大学通信制で学び、社会福祉士となりました。あいりレーつくばという単独型短期入所施設を経営して11年目、これまで管理者・生活相談員として主に高齢者介護現場に携わってきました。現在は、社会福祉士の資格を生かし、筑西市の細谷高等専修学校のSSWと福祉専攻の講師、社専協ハート相談センターの相談員、千葉県教育委員会のSSWをしております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

0 理事 村上 義孝

引き続き理事を務めさせて頂くことになりました古河市役所の吉原です。福祉を取り巻く環境は、刻一刻と変化し、大きなうねりの中にあると言えます。私を含め、会員の皆様も福祉実践現場において、ご苦労されているのではないかと存じます。会は、福祉現場でご苦労されている会員の皆様のために、少しでもお役にたてるような存在であるべきだと考えます。会員の皆様のお役に立てるよう尽力致しますので、ご協力のほど、よろしくお願い致します。

理事 吉原 徹



新 役 員 の ご 紹 介

2～3 ページでご挨拶をさせて頂いておりますが、2016 年度 5 月総会にて下記の役員が承認されました。今年度より 2 年間、下記の体制で運営させて頂きます。皆さまどうぞよろしくお願い申し上げます。

◆新役員のご紹介◆

氏 名	役職	会員番号	所属ブロック	勤務先名及び職種内容
たけのうち あきよ 竹之内 章代	会長	1326	県北	東海大学 健康科学部 社会福祉学科 講師 NPO 法人 スペース空 理事長
しいな きよかず 椎名 清和	副会長	34357	県南	つくば国際大学 産業社会学部 社会福祉学科 准教授
ちば たけし 千葉 剛	副会長	3910	鹿行	鹿嶋市だいどう地域包括支援センター 社会福祉士
こもり ひろみち 小森 弘道	事務局長	4307	県央	こもり社会福祉士事務所 独立型社会福祉士
うえだ かずとし 上田 和寿	理事	37141	県南	社会福祉法人 土浦市社会福祉協議会 地域包括支援センターうらら 社会福祉士
かしむら たけし 鹿志村 武史	理事	44605	県央	ひたちなか市社会福祉協議会 介護保険課
すずき しげふみ 鈴木 重史	理事	36680	県央	社会福祉法人 水戸市社会福祉協議会 水戸市障害者生活支援センター 主任相談支援専門員
たきぐち やすこ 滝口 康子	理事	15717	県央	社会福祉法人 ひだまり会 管理者
なかやま ゆうこ 中山 優子	理事	30164	県南	NPO 法人 いろは 事務
むらかみ よしたか 村上 義孝	理事	52969	県南	株式会社つくばエデュース ショートステイあいりレーつくば 管理者・生活相談員
よしはら とおる 吉原 徹	理事	10380	県西	古河市役所 生活安全部 国保年金課

◆各事業部担当のご紹介◆

研修事業部	滝口 康子、鈴木 重史、村上 義孝
相談事業部	千葉 剛
組織強化事業部	鹿志村 武史
受験対策事業部	椎名 清和、村上義孝
広報事業部	中山 優子
ぱあとなあ	上田 和寿

◆特別委員会担当のご紹介◆

事務局整備プロジェクトチーム	吉原 徹
災害対策ワーキンググループ	椎名 清和

被災地活動支援金の募集について

このたび、4月14日以降に発生しました熊本地震により亡くなられた方々のご冥福を心よりお祈り申し上げます。また、被災された方々に心よりお見舞いを申し上げます。

被災地では今もなお余震が続いておりますが、一日も早い復興を心より願っております。

日本社会福祉士会では、4月16日に開催した理事会で協議を行い、鎌倉会長を本部長とした災害対策本部を立ち上げ、西日本の会員を中心に支援活動を開始しています。

日本社会福祉士会では、被災した圏域の県社会福祉士会の活動等を支援するための募金をしています。詳しくは日本社会福祉士会ホームページをご確認ください。

(http://www.jacsw.or.jp/15_TopLinks/SaigaiTaisaku/kumamoto/shienkin.html)。

皆さまご協力のほどどうぞよろしくお願い申し上げます。

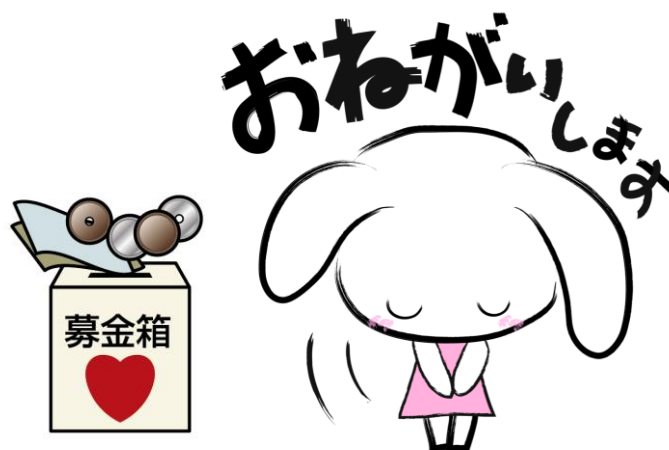
【支援金の振込口座】

郵便振込口座 公益社団法人日本社会福祉士会 00150-0-687734

(個人で匿名希望の方はその旨記載をお願いします。)

- ・「払込取扱票」通信欄に「熊本地震被災地活動支援金」とお書きください。
 - ・匿名（匿名希望）の場合を除いて、支援金をお寄せいただいた個人・団体の氏名・名称（カタカナまたは漢字）はウェブサイトにも適宜掲載させていただきます。個人で匿名を希望される方は、「払込取扱票」通信欄にその旨をご記入願います。
- 恐縮ですが、振込手数料は別途ご負担ください。

また、茨城県社会福祉士会でも、本会開催の研修会の際などに被災地活動支援金募集の募金箱を設置させて頂く予定です。こちらにもご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



2016年度 福祉関係者のための成年後見制度活用講座に参加して



稲田 佐代子

4月23日、24日と2日間にわたり牛久市総合福祉センターにおいて開催された福祉関係者のための成年後見制度活用講座に参加させていただきました。

成年後見制度は日本の福祉制度が措置から契約へと移行した際の契約制度を支える保護制度です。福祉の立場からの利用者保護である日常生活自立支援制度があることに對し、司法の立場から契約に至らない利用者救済がこの成年後見制度でした。その理念は自己決定の尊重、残存能力の活用、ノーマライゼーション。措置の時代に利用者から権利を奪うことで成り立っていた保護の視点から、本人の意思を尊重し今ある力を受け入れながら調和を図っての権利擁護の視点へと大きな変換となりました。多様化し複雑化する現代の福祉構造のニーズや制度の隙間で権利を十分に行使できない利用者のセーフティーネットの意味もあったのではないかと思います。それ故、老人福祉法や介護保険法においても成年後見制度に関わる人材育成や活用が推奨されています。

現在、65歳以上の高齢者やいわゆる団塊の世代といわれる世代が高齢者の仲間入りし急激に高齢化が進行しています。この超高齢化社会を乗り切り、高齢者のみならず各世代の多様な生活構造や複雑化した生活課題や問題に對し、成年後見制度は今後、更に必要になってくる事でしょう。そして、成年後見制度を活用していく上での利点や問題点も活発に検討されていくのではないのでしょうか。

後見人とは本人を見守り、保護し、本人の人生の一部のみならず半生を担うべき重い責務があります。日頃の利用者の支援の中でも、成年後見制度の活用が必要かと考えられる場面が幾度となく見受けられます。そういった状況に際し、私達専門職が状況を判断し、本人の意思に沿い、どの様に支援していくかは支援者である私達自身の資質が問われてくるかと思います。

今回の成年後見制度活用講座では1日目は県社会福祉士会の竹ノ内会長や水戸家庭裁判所の前川氏、県社会福祉士会員大類氏の講義、2日目には茨城県弁護士会の小沼弁護士、リーガルサポートの塚本氏と制度の概要から実際の実務や事例に至るまで幅広く内容の濃いそしてわかりやすい充実した講座でした。この講座で勉強させて頂いた事を今後の自身の実践に生かしこれからの活動の糧にしていきたいと思います。

最後に、今回この講座を計画して下さい、小雨降る中、手弁当で私達の為に尽力下さったスタッフの方々に深く感謝致します。ありがとうございました。



入所施設での職員時代の事である。広汎性発達障害（自閉症スペクトラム）、強度行動障害のある女性のご利用者の方がいた。ADLに関してはほぼ自立しているが、生活場面におけるあらゆる些細な気持ちの変化や、他者から受ける様々な刺激が、最終的には激しい自傷行為や他傷行為に繋がってしまい常時支援対応を要した。

支援者として、その時に不安や不穏を確認できた事実を曜日や時間帯、特定者からの刺激、天候、体調等を数値化し、データ上で何か分からないか集計をとってみた。

その中でなんとなくではあるが、やはり天候に関係し不安を感じ、不穏になられていることが多いことが分かり始める。あくまで天候が変化をきたしている前後ではなく、天候が実際に悪い時である。しかも昼間。当初“気圧の変化か何か…”と、安易に結論付け、違和感すら感じない自分がいた。

一方、この方は女性でありながらプロ野球が大変好きで、知らないことはない程の知識があり、いつしか私の方からいろんな野球の質問や話をして関係を深めていった。

そんな時、ひとつ思い浮かんだ。天候が悪くなり、予定していた野球が今日は見ることが出来なく、自分なりのデータを取ることが出来ないと分かれば残念であるし、気持ちのぶつける場所もなく、それが自傷や他傷になるのではと。しかしながら野球は一年中やっている訳ではない。何度もこうして、解決の糸口がすぐに暗礁に乗り上げてしまう…。

しかし会話を進めていく中で、父に対する思いを語ってくれた時があった。お母様はすでに亡くなっており、父と子の在宅生活を長年送られてきている。父は悪天候にこそ修理や対応をせねばならないお仕事をされていた。本人は入所生活では見えない悪天候の中の父の仕事を思い、安全を願い、そして父に何か起きてしまったら…と極度の不安に駆られている様子だった。お父さんまで居なくなったら…との言葉を聞いた時、かすかな糸口が見えた気がした。

その糸を手繰り寄せ、天候が昼間悪い時は、本人に安心を獲得して頂くべく事業所から父にお電話をさせて頂くことを検討し、父にも了承を頂いた。本人が電話の中で父から「大丈夫だから安心してね。」と聞くと、なんともいえないほっとした表情で安心し、その後の一日を自傷も他傷もなく過ごせるようになった。その後電話自体も本人との相談でしなくても大丈夫なまでになった。事業所をご利用されている方だとどうしても、その環境内の事でしか支援の想像が及んでいない事を痛感した瞬間であり、私が普段、相手の気持ちになり、立場になりというのは、果たしてどれ程出来ているのかを反省した出来事であった。

自分もそうであるように、変わらない気持ちと変わる気持ちが常に誰にでも存在する。生活環境や影響を受ける人により気持ちや考えは変化していく事になる。

今まさに私は児童のみなさんと共に日々過ごしている。今のひとつひとつの楽しい関わりや経験が、不安を感じた時に安心を獲得する糸や、自分の思いを表出（表現）できる糸となり将来に長く繋がるよう支援していきたい。

そうだ、糸と糸を強く結びつける方法もみんなと相談しなければならない…。

★新規入会会員大募集中です★

職場やご友人に社会福祉士の資格をお持ちでまだ社会福祉士会に入会されていない方はいらっしゃいませんか？また、新たに社会福祉士国家試験に合格した方はいらっしゃいませんか？もし身近にそんな方がおりましたら、ぜひぜひ社会福祉士会への入会のお声かけをお願いいたします。

茨城県社会福祉士会事務局にも入会申込書を準備しております。お電話を頂くか、ホームページ（<http://www.csw-iba.org/>）にある入会申込書請求フォームから入会に必要な書類を請求できますので、大いにご活用くださいね。





北の国から

～県北ブロック通信～

本音トーク実施中！！

3月18日、5月20日「食事をしながら本音トーク」を実施しました。場所は3月がみなみひまわり学園、5月が梅が丘病院で行いました。発表の内容は一部、報告書でお知らせしましたが発表してみてもの感想をみなさんからいただきましたのでお知らせします。

今回、みなみひまわり学園に行政や病院、施設など幅広く10名以上の方が集まり定例会を行った。社会福祉協議会の宮本さんから主に2つの事業が印象に残った。「助け合い・支えあう地域作り」「ふれあいと明日を育むしくみづくり」において、高齢者から子どもまで地域全体で支える地域があって成り立つものである。だからこそ、横の繋がりが薄くなる現代だからこそ地域と連携する必要性が大切であると感じる。(高林)

私が社会福祉士会の会合に参加するにあたり、思うことは皆さんとの横のつながりを作りたいということです。福祉の仕事といってもジャンルが多岐に渡っているため、意識的に「知ろう」としないと、どんどん視野が狭くなってしまいます。今回の会合でも新たな発見が沢山ありとても勉強になりました。

私の拙い発表は皆さんに上手くお伝えできたか甚だ疑問が残りますが、美味しいお弁当を食べながら、横のつながりがまた少し強くなったことは一番の収穫でした。(宮本 淳)

先日の県北ブロック定例会でお話する機会をいただき、これまでに同領域の方にお会いすることが少なかったことから、「自分の業務内容を知っていただくためには、何を伝えたらよいか」考えました。それによって、改めて日頃の自分の業務を振り返ることができ原点や課題を確認することができました。

本音を語り、受容、共感、励ましをもらうことで、また進んでいく意欲をもらえるそのような場であったと思います。つたない話にお付き合いくださった皆様に感謝しています。(須藤 由子)

ひ・と・こ・と

今回は写真なしでいってみました。

3号、約一年間楽しく作成させていただきました。次号からは石井さんが担当してくださいます。ありがとうございました。(山里)

茨城県社会福祉士会のFacebookページもよろしくお願いします！

<https://www.facebook.com/csw.ibaraki>



各種お知らせや研修会の様子等を発信しています。

皆さまぜひ「いいね！」やフォローをお願いいたします m(_)_m

※「いいね！」などのご参加を頂くにはFacebookへの登録（無料）が必要となります。
Facebookに登録しなくても閲覧は可能です。



県央ブロックだより



こんにちは。暑い！夏本番！！を迎え皆様いかがお過ごしでしょうか。

春からの活動を振り返りますと①懇親会、②ブロック体制検討会議、③東京研修と出会いの機会、学ぶ機会を設けてみました。

人が集い語り合うことからまた、新しい何かが生まれる！

これからも会員の皆様からの要望に応えられるような研修を企画しますので、どうぞお楽しみに！

また、懇親会も定期的に行っており親睦の場になっています。ぜひ酒宴でもお会いしましょう！！

① 懇親会

4月9日（土）益益 水戸内原店にて
今年度初の懇親会を開催し、11名の方が
参加されました。

2時間では足りなかったですね。
時間を延長してもなお、熱い思いが弾けて
いました。

この懇親会から新理事への立候補を決断
された方もおりました。

バックアップは惜しみませんので、これ
からもまた集まってトークしましょう！



② ブロック体制検討会議

7月15日（金）益益 水戸内原店にて
懇親しつつ、ブロック体制の担当を話し合
いました。

- ◆ブロック長：檜山信雄さん
- ◆研修担当：小川 舞さん
- ◆相談担当：稲田佐代子さん
- ◆広報担当：石川暁子さん
- ◆組織強化：荒川幸子さん、長田繁子さん
- ◆ぱあとなあ：横須賀 優さん

皆様、どうぞよろしく願いいたします。

（'ω'）ノ



③ 東京研修

7月18日（祝）
ソーシャルワーカーデイ2016
＜中央集会＞に参加しました。

特別講演：田代まさし氏 「当事者が語
る薬物依存からの脱出」、続いてのシン
ポジウムの内容にはガツンとききました。



●●これからの予定●●

10月8日（土）の午前中に
＊2年目を迎えた生活困窮者制度に
ついて（仮）というテーマで

笠間市社会福祉協議会

片岡 博氏

をお招きして研修会を開催いたします。
詳細はまた後ほどにお報せしますので
どうぞお楽しみに！

県南ブロック活動報告

ホームページ ⇒ <http://ibanancsw.hp2.jp>

県南ブロックの活動も 8 年目に入りました。土浦市・つくば市・稲敷市・つくばみらい市・守谷市・取手市・牛久市・龍ヶ崎市・阿見町・河内町・利根町・美浦村の会員の皆さまは県南ブロックの一員ですよ～。新しく入会した方も、まだ参加したことがないという方も、まずは顔を出してみてくださいね♪一緒に学び楽しみましょう！

学び合いの時間は今年度も継続していきます！

昨年度からスタートした会員による会員のための学び合いの時間。定例会の中で各会員が講師役となって自分の活動分野や興味のある分野から発表を行い、会員がお互いのことを知るとともに、発表する力もつけていくことを目指して始まった試みでしたが、今年度も継続していくことになりました。

4 月の定例会では、みのるの郷の有坂会員を講師役に重度知的障害者への支援方法や問題行動の理解、良いところ探しの視点などについて学習。続く 6 月の定例会では、江橋事務所の江橋会員を講師役に相続の基本的な知識について演習を交えて学習しました。

8 月は会員交流会開催のため勉強会はお休みですが、10 月は井上会員、12 月は布川会員、2 月は山口会員が講師役を担当する予定です。



今年度からの新役員が決まりました！

4 月 16 日（土）の会議にて下記のとおり今年度からの役員体制が決定しました。皆様どうぞよろしくお願いいたします。

- ❖ブロック長：猪瀬 厚
- ❖副ブロック長：加藤 史子、椎名 清和
- ❖研修事業部長：角田 純一郎、加藤 史子
- ❖組織強化事業部長：山口 めぐみ、山口 正博
- ❖広報事業部長：中山 優子
- ❖成年後見ばあとなあ部長：谷口 照子、藤井 誠
- ❖会計担当：上田 和寿

- ❖監事：脇坂 孟男、江橋 くるみ
- ❖顧問：萩原 廣茂

★各事業部とも一緒に活動してくれる仲間を随時募集しております！

事業部の活動に少しでも興味のある方は、ブロック会議の際などお気軽にお声かけくださいね(^o^)/

★会員交流バーベキューを開催します★

日時：8 月 20 日（土） 18:00～20:00

会場：シャトーカミヤ

（バーベキューガーデン）

牛久市中央 3-20-1

JR 常磐線「牛久駅」東口徒歩 8 分

参加費：3500 円（食べ放題飲み放題）

申込み：8 月 5 日迄に FAX か Mail で猪瀬県南ブロック長までお願いします。

FAX：0297-38-6551

Mail：a-inose@yukkora.or.jp

詳細は県南ブロックホームページで公開中！

※県南ブロック以外の会員の方も大歓迎です！！
美味しく楽しく交流しましょう♪

★今後のブロック定例会議予定★

10 月 15 日（土）18 時～

土浦市役所 男女共同参画センター研修室
終了後には勿論!?懇親会も開催します！

詳細は県南ブロックホームページで😊



けんせいいつしん

県西ブロックの皆さん、こんにちは。暑い日が続きますが、体調はいかがでしょう。私事ですが、4月に異動となり（なんと13年ぶり！）、毎日バタバタの毎日です…SWカフェを開催したいのですが、なかなか実現に至らず…ご迷惑をおかけしております。ブロック活動や運営には皆様のお力添えをぜひいただきたい！と思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

リレートーク 4

こんにちは。私は古河市にある社会福祉法人芳香会 青嵐荘ケア・アシスタンス（介護老人保健施設）で支援相談員をしております、加藤めぐみと申します。昨年度までは同法人が茨城県から委託を受けております「茨城県地域生活定着支援センター」にてソーシャルワーカーをしていました。

『地域生活定着支援センター（以下、センター）』は皆さま既にご存知の通り、矯正施設入所中の障がいのある方や高齢の方が、出所後直ちに適切な福祉の支援を受けられるように矯正施設入所中からコーディネートし、出所後も対象者が地域で安定して生活できるよう、関係機関の皆様と連携を図りながら支援していきます。また、センターは司法と福祉の架け橋となる役割も担っており、司法分野の方たちとの関わりに多くの刺激を受けました。異なる言語に最初は戸惑うことも多かったですが、相互に理解し、協力して対象者を支援していく関係性が築けたことは、双方にとって大きな変化であったと思います。

私はセンターの立ち上げから5年半事業に携わり、その間約90名の対象者の支援をしてきました。センターの対象者は様々な「生きにくさ」を抱えながらも、一所懸命に生きる術を探し居場所を探した結果、環境に恵まれず残念ながら矯正施設に入らざるを得なかった方たちでした。そんな対象者との出会いはこれまでの私の価値観を変えるほど、とても貴重な経験でした。対象者と真正面から向き合い、受け止め、そして支えることの困難さを日々痛感し、自らの無力さを知りました。それでも、センターの仕事を続けることができたのは、関係機関の方達や同僚に支えられながら一つ一つ壁を乗り越えることができ、そして何よりも対象者が地域で安心して過ごされている姿を見ることができたことで、ソーシャルワーカーとしての役割を果たせていると感じられる瞬間があったからだと思います。

現在は介護老人保健施設の支援相談員として働いていますが、センターで得た貴重な経験や知識を糧に、ソーシャルワーカーとして更にブラッシュアップしていきたいと思っています。

※次は『古河市役所 子育て支援課 池澤健嗣さん』へバトンタッチします。

SWカフェについて

運営にご協力いただける方、ぜひご連絡ください！場所探しや予約、チラシづくり、仲間への声掛け、当日の受付などをお願いしたいと思っています。すべてではなく、お手伝いいただける部分だけでも結構です。開催企画、アイデアもお待ちしています。

◎連絡先 ⇒ 県西ブロック長 岩田（m.iwata@city.yuki.lg.jp）

鹿行ブロック活動について



みなさん、こんにちは！

このたび、鹿行ブロック長になりました小沼です。

前任の澤井さんには、これまでブロック長ありがとうございました。これからもご指導をよろしくお願いいたします。

まずは、自己紹介から。

私は4月に潮来市役所子育て支援課に異動してきました。以前に福祉課経験があり、昨年社会福祉士を取得し、同じ年に茨城県社会福祉士会に入会した者です。

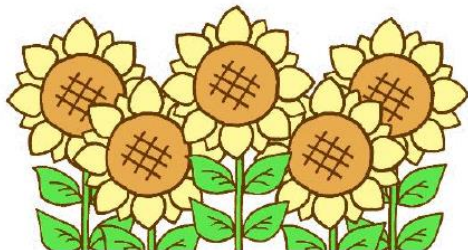
久しぶりの福祉課でのお仕事に驚いています。

世の中の環境が以前と違い（30年近く前・・・）、地域のコミュニケーションの希薄化、家族の孤立化、家族全体を対象としたケースが多いことに驚きです。

そんな中で、医療、保健、福祉、介護、社会保障等の専門的な連携が必要になってきている現場に、あらためて社会福祉士の役割を実感しています。

まずは、ブロックの社会福祉士の連携と情報共有をしていくことに力を入れていきたいと考えています。

各ブロックの皆様の情報を参考にしながら、鹿行ブロックもがんばりますので、応援よろしくお願いします。



鹿行ブロック長 小沼 雅義



【編集後記】

毎日暑い日が続いておりますが皆さまいかがお過ごしでしょうか？施設等にお勤めの方の中には夏祭りや納涼会の準備に忙しい日々を過ごしている方もいらっしゃるのではないかと思います。ニュースでは熱中症で病院に運ばれる方も数多く出てきているようです。ご利用者様や患者様はもちろん、職員の皆さまも水分補給をこまめに行い熱中症には十分にお気を付けください。

新年度に入り4ヶ月が経とうとしていますが、新入職員の皆さまや異動のあった皆さまは今のお仕事に慣れてきた頃でしょうか？広報誌を手にしてくださっている皆さん、周りに社会福祉士をお持ちで社会福祉士会に入っていない方がいらっしゃいましたらぜひとも入会のお声掛けをお願いいたします。資格取得はスタートラインです。日々の研鑽を重ねてこそ磨かれ、活かせる資格です。そして何かのときに相談できる仲間が職場以外にもできると何かと心強いですよ。ぜひネットワークを広げていきましょう！

広報報事業部

